

2023年度

科目名称	臨床整復学
授業コード	BH229
英語名称	Clinical theory of reposition by Judo 2
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	濱田 淳 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>上肢（上肢帯から上腕部周辺）の脱臼・筋腱軟部組織損傷を中心に、診断法・整復法・固定法・後療法等について総合的に講義する。</p> <p>柔道整復師の業務範囲を踏まえての適応を理解し、柔道整復師の施術を理解できるよう学ぶ。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>長年接骨院で患者をみてきた柔道整復師である教員が、上肢（上肢帯から上腕部周辺まで）の各部損傷について、豊富な臨床体験教育を通し、地域医療に貢献できることを目的とした講義を実施する。</p> <p>担当教員 濱田 淳 元接骨院院長 柔道整復師</p>
到達目標	<p>ディプロマポリシーに掲げる「柔道整復師に必要な医学的知識・技術および基本的技能」を有することを目的として、総合的に診断法・整復法・固定法・後療法等について理解する。</p> <p>カリキュラムポリシーに掲げる「柔道整復の専門知識を学び、論理的思考を養う」ことにより、柔道整復師の基礎概念を習得し、本講義内で学習する外傷について理論的に理解し、それを第三者に説明できるとともに、実践するために何が必要か分析できる知識を身につける。</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業ガイダンス（倫理含む） 上肢帯・自由上肢骨の骨形態および機能解剖について 2) 鎖骨の脱臼（胸鎖関節脱臼・肩鎖関節脱臼） 特徴と機能解剖を説明し、鎖骨の脱臼を理解する。 3) 鎖骨の脱臼（胸鎖関節脱臼・肩鎖関節脱臼） 臨床症例を用いて具体的に理解し、固定法、後療法、予後を想定して理解する。 4) 肩関節脱臼 肩関節の特徴と機能解剖を説明する。 5) 肩関節脱臼 臨床症例を用いて具体的に理解する。整復法、固定法を理解する。 6) 肩関節肩関節脱臼 後療法、予後を想定して理解する。観血的療法の適応例などを理解する。 7) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 肩板損傷の臨床症状 8) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 腱板損傷の検査法を理解する。 9) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 上腕二頭筋長頭腱損傷の臨床症状

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>10) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 上腕二頭筋長頭腱損傷の検査法を理解する。</p> <p>11) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 ベネット損傷、SLAP損傷の臨床症状</p> <p>12) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 肩関節周囲の様々な損傷の病態を理解する。</p> <p>13) 肩部および上腕部の筋腱軟部組織損傷 神経損傷等の様々な損傷の病態を理解する。</p> <p>14)上腕部の軟部組織損傷および全体総復習</p> <p>15) 総復習（問題演習）</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>解剖学的な理解も含め教科書を中心にプロジェクターやプリント等を利用して進め、復習のため既習範囲の小テストなどを行う。 過去の国家試験問題や練習問題を解いて重要点を把握する。 講義の内容により授業内レポート（要約）を作成・提出する。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>アクティブ・ラーニングを用いて、短期記憶で消させずに長期記憶となるように実践する。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回講義内容となる範囲の予習を行い、復習内容と合わせて不明な点をまとめる。 ・教科書、プリント、講義内容を関連付けて自分の講義ノートを整理事務すること（合計60時間程度）
<p>教科書・参考書</p>	<p>教科書：柔道整復学【理論編】（南江堂） 解剖学 第2版（医歯薬出版） 参考書：柔道整復師過去国家試験問題集</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>基本的に期末試験の成績で評価するが、その他に学習態度(意欲を持って取り組む。私語、居眠り、携帯で遊ぶなどは禁止)・授業内レポート等も考慮し総合的に評価する。 期末試験：80% その他：20% 対面での試験実施が不可能な場合は、それに代わる課題で評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>学生からのコメントペーパーの内容をもとに、授業への反映や配布資料等を行う。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>柔道整復師国家試験資格取得に必須の科目、基礎整復学、基礎整復学に関連する。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>ZOOMによる講義または課題によるレポートを作成し提出 レポート課題の未提出および提出期限を過ぎてからの提出は欠席扱いとする。 WEB上での期末試験を実施予定：80% 講義への参加状況およびレポート課題：20%（レポート内容を総合的に評価する。）</p>